

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 1 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和 6 年 7 月 19 日（金） 午前 9 時 00 分～10 時 00 分
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 6 名、教育長、館長、事務局 2 名
会 議 次 第	1. 開会のことば 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 委員紹介 5. 協議事項（進行 会長） 1) 令和 5 年度図書館利用状況 2) 令和 6 年度蔵書点検結果報告 3) 令和 6 年度図書館事業について 4) その他 6. その他 7. 閉会のことば
会 議 結 果	2. 委嘱状交付 4. 委員紹介 互選により会長に川島弘さんを選出 5. 協議事項（進行 会長） 1) 令和 5 年度図書館利用状況について 2) 令和 6 年度蔵書点検結果報告 3) 令和 6 年度図書館事業について 4) その他 事務局から一括説明し、質疑を経てご了承いただく。
発 言 者	発言の内容
教 育 長	改めましておはようございます。皆さんこれから 2 年間、図書館協議会でお世話になります。よろしくお願いいたします。もう何をやるのかということをご存知のことと思いますが、これは 2 年間町民のために、この町図書館のためにもよろしくお願いいたしますと思います。 昨日も関東甲信越それから東海の梅雨が明けていよいよ夏ということですが、災害級の猛暑が襲ってくるといわれております。私自身もどんな夏になるのかという心配があり、しょうがない一方でこの猛暑日でもこれと付き合っていければいけない。その中で図書館のあり方を考えてみたんですけどね。逆にこの猛暑っていうのを味方につけて「攻める図書館」。攻めるということが適切かどうかわからないが、暑いので涼しい図書館で本を読みましようとか、あるいはこういうイベントがあるので来てくださーいっていうようなことで、自分たちの活動をより PR していく謳い方も必要かなと。 昨日午後、信毎の記者の方と話をしました。最近新聞を読む人が本当減ってきて、購読数は信毎だけでなく大手も減っています。多分インターネットやスマホでニュースを見るからいいという人たちが、若い人が中心に増えているからです。学校で古新聞を持ってきてくださいと言っても、新聞を取っていない家庭も結構あります。「古新聞持っ

	てきて」が死語になってきています。だけど私が非常に心配なのは、やはり新聞は、パッと見た時に活字の大きさや、どのニュースが紙面のどこに載っているかで、重大性がわかります。インターネットはそうはいきません。新聞では2枚目3枚目に小さく載っている記事も、同じ大きさに載ってしまいます。みんな1面のトップの記事と同じように載ってしまうので、今何が起きているのか正確にはわからない。こういうこともあるので、やはり新聞を読んで新聞から情報を得るっていうことが大事。図書館にもたくさん新聞があり、大事な財産、必要性というの訴えていく必要があります。 委員の皆様もこのことに関して、いろんな意見を持ってる方は伝えていただけると。それでは今年度第1回目の図書館協議会、よろしくお願いします。
会 長	改めましておはようございます。ただいま委嘱を受けました。ご指名でありますので精一杯務めさせていただきます。 一言だけ申し上げますけれども、教育長から話のあった後段のことですが、私も実はちょっと気になっておりまして、ご覧になった方もいらっしやると思います。2日ほど前でしたかね。ニュースで毎日新聞が富山県でもう配達をしなくなると。それでユーザーには1日遅れで、あとはネットでの配信、こういう動きが広がっていくのではないかと心配をしております。他の雑誌の編集に関わっていますが、昔は発送した次の日には届いたりしましたが、これから次の日どころか何日も遅れてくるような、そんな時代になっていくかもしれません。 昔は朝一番に目にする活字は新聞でした。そして読書離れが進んでいる。そういう中で、家庭から新聞もなくなる、新聞を取らない、取れなくなる。だからこそ図書館の役割が重要になるのではないかと改めて思います。
事 務 局	(協議事項を一括説明)
委 員 A	広報に関してどのようなことをして、どこにアクセスすればよいのか。
事 務 局	今広報している場は、カウンター・館内掲示・移動図書館車での掲示・ブックスタートやセカンドブックでの紹介です。 役場で子育て家庭向けに試験的にチラシ等の電子データ配信をしています。サマーライブラリーと例月のお知らせについて申請をしてみました。Webで見られるのは保護者の方です。
委 員 A	今 LINE で広報するところもある。小学校の連絡網も LINE という話も聞きます。
委 員 D	保育園ではコドモンを使っています。連絡帳の機能や保育士の日誌などの役割で、写真の販売も始めました。おたよりや連絡帳など、今はもう紙ベースはほとんどなく、スマホで連絡です。
委 員 A	息子家族が仙台にいて、仙台の LINE を登録してみると、いろんな情報が入ってきます。特に土日に関してものすごいイベントをやっていて、情報がすごく細かいです。子どもが小さいと週末どこにいくかみんな苦労しているのでいいと思います。クールシェアリングも場所や時間の具体的な情報がたくさん入ってきます。私は基本的に関係ないですが、たまたま LINE で友達登録したらすごいですね。1日に1回くらいどんどん連絡がきます。幅を広げて町全体で広報できるといいですね。
事 務 局	もともと町の LINE はあり、ごみの情報など結構前からやっています。図書館でもそれに乗っかれたらいいですが。近隣も進んでいて、南箕輪も X や YouTube など SNS をやっています。

委 員 A	DVD に関しては、YouTube で見ることが多いです。前もって予習するときなど、困ったときは YouTube です。
事 務 局	YouTube のいいところは、気になったらまた戻れるところです。上映会だと誰かが気になったところでも、みんなで見ているので言い出しにくいですね。 DVD は高額ですが、毎年新しいものを購入しています。配信されていないもので図書館らしいものを所蔵するようにしています。DVD の貸出をしていることを知らない人も多いのではないかと。広報には載せていますがなかなか。図書館だよりはホームページに載せているが、図書館のページにいくまでもが長いです。
委 員 A	たつの新聞での本の紹介はすごくいいと思います。
会 長	どういう情報が受け入れやすいのか、一度に一気にくると面倒くさい。最後まで読むといいことが書いてあるのかもしれないが。単独で図書館の情報がくるといい。 たつの新聞に載っている本の紹介をときどきまとめたものを配られるとか。子どもが減っている中で、保育園や学校の先生方が、子どもたちに本の紹介するときの参考になるのではないのでしょうか。何らかの媒体で手元に届くようにしていただければ。聞くところによると、先生方も忙しくて新聞を読んでいない、新聞を取っていないという方もいらっしゃるそうです。
委 員 E	学校現場の話として、中学校は図書館にいかに来てもらうか。そのために図書館だよりに力を入れて、新刊やおすすめ本の紹介をしています。でも子どもたちは自分の必要なもの、興味のあるものしか見ません。 国語の読書感想文の本を探しに来た子どもたちのなかで、図書館の新刊本を見て「こんな本があるの?」「図書館だより見てないの?」という会話がありました。 見てもらうにはアナウンスが大事だと思います。学校であれば図書館だよりが配られたときに図書委員が一言添えるとか。例えば図書館でイベントをやるときは、何かちょっとしたことでも、お母さんたちこういうことやるんですよって言われたら、ちょっと見に行こうかなとか。やはり人と人なので、自分の好きなものしか見ないので、一声かけることが大事だと思います。
委 員 C	私の娘の時代、図書館に来た時に窓口で「〇日におはなし会があるから来てください」と職員の方に言われ、来たのが始まりです。それから「次は〇日にあるから来てください」と言ってくれて、その人のファンになったのもあるが、とてもフレンドリーな対応をしてくれました。そうしたちょっとしたアナウンスですね。図書館に来たときの声かけが本当温かくて大事なのかというのがとても感じました。そこからはまって絵本講座に入ったというのもあったので。 えほんのへやの参加者が少ないことに関しては、1つ駐車場が空いていないということもあると思います。子どもさんを連れてくる人はなるべく図書館の近くに停めたいですね、雨の日なんかは特に。 あと私の時代の話ですが、いろんなことが緩やかな時代で、おはなし会でもお土産で折り紙やマスコットを作ってくれたりしました。子どもと一緒に、次はどんなお話かなと言いながら来てました。すごく大切な思い出になっています。 今おはなし会をする側になってみると、プラスαのことを今の絵本講座の方々に任せるのは大変なんですよね。絵本の読み方や手遊び、読みきかせのプログラムの組み立て方も習っていますが、プラスαの価値をそこに付けていくのはどうしたらいいのかなと。もしかしたら今後絵本講座でも考えていかなければいけないと思います。お土産となるものを外部にお願いするとか。図書館もプラスαとなることをやっていい場所かは分からないが、今後の課題になると思います。せっかく図書館に来て、読みきかせが終わったらすぐさよならと終わってしまったらちょっと。

委員 B	今は異常に情報過多で、スマホのやり方もいろいろでしょうけれども。その中で言われたように、子どもたちがが真っ先に出会ったときに、何をどのように感じるんだろうかというものが本当に大切だという気がします。 ある時小学校で子どもたちはどうして学習意欲を上げたりするのかという話を聞いたとき、まずそこに子どもたちが関心を持てる出会いがあって、子どもたちはそれからの勉強・学習に入ってくるという話がありました。出会いを大事にしないと、ただ読んでくれればいい、それだけで終わってしまう気がしました。
委員 E	おはなし会への参加者のこの減り方は恐怖だと感じました。今おはなし会に参加している子たちが今後保育園、小学校、そして中学校に上がってきます。深刻なネット依存で、スマホ育児の表れじゃないかとすごく恐怖を感じました。 やはり学校現場や保育園、その前にやっぱりおうちの人が見てやってくださいと。学校でも私もしますけどもちろん質を上げなきゃいけないと思います。 でも、学校だけじゃどうにもなりません。小さい子がスマホを使っているのをみたことがありショックを受けたこともあります。伊那や箕輪の学校では子どもたちが本を借りないという話も出ています。 情報教育担当の社会科の先生とお話する機会がありました。社会の授業の調べ学習でも、ネットからの情報だけでまとめてしまう子は内容が薄い。ネットだけでなく本からの情報も調べる子たちは、まとめに厚みがある。授業だけでも違いが出てくるそうです。小さい時からおうちできちんと大人がネットと本を上手に使っていく必要があると思います。 もう一つ、養護教諭の研修でゲーム依存に関する内容だったとのことです。ゲームをしているときに使うのが前頭葉。前頭葉が出来上がるのが 20 代後半。ゲームをすると、ゲームがしたいから学校に行きたくない事態になってしまい、ゲームをやめると学校で怒ってしまうとかがあるそうです。 やっているかわからないが、母親学級などで絵本を読む大切さや図書館の利用などについて話すのもよいのではないのでしょうか。子どもが生まれる前のお母さんにゲームの怖さを話すのもいいかもしれません。
委員 A	アメリカの話です。今大統領選挙などに関していろんな情報があります。政府情報に汚染されず、ちゃんと現場で取材して、その地方の新聞を発行していることは、ある程度読者である住民が、文字で見て取材した記事を読んでいるということ。 でもそうでないところは、ちゃんとした文字で取材した記事が読めない。ニュースは Web 上だけの寄せ集めになってしまっています。フェイク情報に汚染されるところは、地方新聞がないところという傾向があるそうです。 情報を取ることは大事というか、取材して紙媒体で読んでいるという日常。新聞が身近なツールとして大事にしたいと思いました。
委員 D	移動図書館を毎月来ていただいています、未満児から保育園に入るのは大きいと思うので、出張えほんのへやなどを各園でやっていただくとかはどうでしょうか。 ふれあい保育という入園前の親子に来ていただくときにも、読みきかせなどしていただけたら。園でもいろいろ企画しやっていることもあります。 保育園でも先生たちが毎日絵本の読みきかせをするが、なかなか学校につながっていない。子どもたちもゲームや YouTube の話が多くなっています。
会 長	事業計画の講演会について。7 月 28 日に中本品子さんの講演会があります。中本さんのお気持ちが伝わる講演会になればいいと思います。 課題は非常に大きいですが、少しずつでも解決していければと思います。 以上で協議を終わらせていただきます。

閉 会